

「ご卒業おめでとう」ございます

魚沼基幹病院 耳鼻咽喉科 本間 悠介
(平成 16 年卒)



この度はご卒業おめでとうございます。また、6年間の学生生活と医師国家試験ご苦労様でした。今頃は4月からの新生活に向けて期待と不安を抱えながらも、試験勉強から解放され残り僅かの学生生活を満喫している頃ではないかと思えます。

「ご卒業おめでとう」ございます

新潟市民病院 乳腺外科 遠藤 由香
(平成 25 年卒)



卒業生のみなさん。この度はご卒業おめでとうございます。国家試験も無事乗り越え、ほっと一息ついているところでしょうか。新生活に向けて、残された学生生活を満喫していただきたいと思えます。

「ご卒業おめでとう」

電子カルテ上には有用な情報が膨大に取られています。それだけでは患者さんとの信頼関係は築けません。患者さんの元を何度も訪れ、会話すること、回診の時では上級医に話せない、検温の時では看護師に話せない心配・悩みを話すきっかけを作ることができ、患者さんに寄り添った診療ができると思

感を感じて悔しかった1年目、わかったつもりになって調子に乗っていた2年目前半、今後この場所で、どの臨床科に進むのか迷った2年目後半でした。なにか皆さんのお役に立てるようなアドバイスはありますか振り返って考えてみました。私も一人医長で勤務したり先輩と後輩両方の先生と一緒に仕事したりといういろいろな環境を経験しましたが、そんな中で大切だと感じたことがありません。それは「指導医に怒られる」ということです。研修医が怒られている姿はしばしば見られますが可哀そうと思う反面、ある意味うらやましいと思うことがあります。「怒られる」ということは言い換えれば「守られている、教えてもらっている」ということです。怒られるのは誰でも自分の良いことではありませんが、だんだん経験年数が増えるにしたがって周囲の怒ってくる指導医も減ってきますし、間違っていても誰からも指摘してもらえず自分が恥をかかなくなるにつれて、最初の数年間は指導医に怒られることもたくさんあるとは思いますが、幸せだと思つてた皆さん怒られてください。

「ご卒業おめでとう」ございます

新潟大学医歯学総合病院 消化器内科 佐藤 公俊
(平成 25 年卒)



ご卒業、国家試験合格おめでとうございます。3月も後半となり、新年度からの研修医生活への期待と不安を感じ始めているところでしょいか。初期研修の2年間は予想以上に短く、そして医師として人間として成長できる重要な期間だと思えます。

初期臨床研修のあれこれ

済生会新潟第二病院 木谷 洋平
(平成 27 年卒)



ご卒業おめでとうございます。研修の2年目、新潟大学を卒業してから2年弱が経ちました。今回卒業生へのメッセージをこの場で、初期研修医目線で皆さんに伝えたい3つのことを書きました。

初めての救急外来

厚生連長岡中央総合病院 植野 広大
(平成 27 年卒)

卒業生の皆様、ご卒業誠にありがとうございます。数々の卒業試験や長丁場の国家試験を乗り越え、昔から抱いていた医師になるという夢が叶い感慨深い思いでいる方もいるでしょう。名簿で一番前だったという理由でこの原稿を書くよう依頼されたので、僥倖ながら自分の研修を振り返り、書かせて頂きます。

二つ目は、自分が主治医であるという責任を持つことです。患者さんの病状、身体所見、既往など上級医と同様またはそれ外も日当直と似ていました。分らないことがあるたびにその場で勉強をしていると、徐々にできることが増えていき成長している実感を持つことができているので、積極的に外来業務もやらせてもらおうの思いがあります。

三つ目は、なるべく多くの診察に研修医になりたての頃は、一挙手一投足をしたらよいのか分らないと思えます。そんなときは上級医や2年目の研修医に遠慮なく聞くことが大事です。僕は疑問に思ったことをメモに取っておき、病棟業務の合間や手術中先生が雑談を始めたときなどに少しずつ質問していました。また、何か少しでも自分ができそうな手技や業務があれば、上の先生に言ってみて取り敢えずやってみることをお勧めします。初期研修医なら失敗しても大抵は上級医がカバーしてくれまますし、自分の手や頭を使って憶えたことは簡単には忘れないからです。

最後に、これから一緒に働けることを楽しみにしています。健康に気を付けてお互い頑張りましょう。

この春卒業する皆様に向けた先輩からのメッセージを掲載しています。初期研修に向けた心構えをそれぞれの立場からのお話です。

編集後記

この春卒業する皆様に向けた先輩からのメッセージを掲載しています。初期研修に向けた心構えをそれぞれの立場からのお話です。

地域医療における医師偏在、医師不足といった状況下で、新潟県における病院がそれぞれ工夫し研修医を迎える準備をしています。長年の夢であった医師になることがもうすぐ叶うところでの、期待や不安をこの勤務医ニュースの特集から実感していただき、どうぞ医療の世界へ飛び込んで下さい。

(高橋 英明)